



特定非営利活動法人

日本がん・生殖医療学会

## 第12回

# 日本がん・生殖医療学会学術集会

がん・生殖医療の未来を見据えて  
～垣根のない医療を目指して～

2022年2月11日(金)～13日(日)

開催形式：ハイブリッド開催（現地会場及び会期後のオンデマンド配信）

市民公開講座：オンラインライブを現地もしくはWeb視聴、多職種研修会：現地会場及びWeb配信

会長 池田智明

三重大学大学院医学部医学系研究科  
産科婦人科学 教授

会場 名古屋国際会議場

〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

事前登録

受付締切 2022年1月21日(●)

参加費 医師……………13,000円

医師以外… 8,000円

当日登録

医師……………15,000円

医師以外…10,000円

主な内容

・Oncofertility Consortium Japan Meeting

・多職種研修会

・ハンズオンセミナー

・乳がんセッション

・小児がんセッション

・薬剤師セッション

・看護師・心理士セッション

・一般演題／優秀演題表彰



公式  
ホームページ



名古屋国際会議場



【主催】

特定非営利活動法人  
日本がん・生殖医療学会

【共催】

三重県病院薬剤師会

【運営事務局】

株式会社ヒューマン リプロ・K  
〒226-0003

横浜市緑区鴨居6丁目19-20

Tel: 045-620-7560



# 第12回日本がん・生殖医療学会学術集会 (於 名古屋国際会議場)

参加費：医師13,000円 医師以外8,000円 (要事前参加登録)

2月12日(土) 【第1会場：レセプションホール】

開始	終了	所要時間(分)	セッション・講演名	演者
8:30	9:00	0:30	基調講演「がん・生殖医療の新機軸」	吉村泰典(慶應義塾大学 名誉教授 / 福島県立医科大学 副学長)
9:10	11:10	2:00	Oncofertility Consortium Japan 2022	
			日本中へがん・生殖医療ネットワークを広げるために～厚労科研での取り組み～	古井辰郎(岐阜大学大学院 医学系研究科 成育医療センター センター長)
			宮崎県におけるがん・生殖医療に対する取り組み	桂木真司(宮崎大学医学部 産婦人科 主任教授)
			小児専門病院でのがん・生殖医療への取り組み	慶野 大(神奈川県立こども医療センター 血液・腫瘍科 医長)
			富山県のがん・生殖医療の現状と課題	伊藤雅美(富山大学大学院 医学薬学教育部 産科婦人科学講座 診療助手)
			大都市でのがん・生殖医療の課題と実践	後藤真紀(名古屋大学大学院 医学系研究科 産婦人科学 准教授/岡崎市民病院 産婦人科)
			名古屋市の妊孕性温存療法に対する支援の取り組み	加藤純一(名古屋市健康福祉局 健康部 主幹)
			東海北陸若手がん・生殖医療セミナーの取り組み	竹中基紀(東海北陸若手がん・生殖ネットワーク / 岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科 臨床講師)
			小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業について	成田幸太郎(厚生労働省 健康局がん・疾病対策課 課長補佐)
			総合討論	
11:20	12:00	0:40	特別講演「新しくなった日本がん・生殖医療登録システム(JOFR-II)の現状と課題」	高井 泰(埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 教授)
12:15	13:15	1:00	フェリング・ファーマ株共催ランチョンセミナー「"Time to pregnancy"を念頭においた個別卵巣刺激法」	絹谷正之(絹谷産婦人科 院長)
13:25	13:55	0:30	会長講演「生殖と周産期のリエゾン」	池田智明(三重大学医学部産婦人科学 教授)
14:00	15:10	1:10	乳がんセッション「乳がん患者様への妊孕性の対応について」	
			乳がんのがん・生殖医療	清水千佳子(国立国際医療研究センター病院 乳腺腫瘍内科 科長)
			乳がん患者の妊孕性温存の支援について	金澤麻衣子(東北大学病院 看護部 がん看護専門看護師 / 乳がん認定看護師)
			がんと妊孕性のはざま経験から「がん・生殖医療」に望むこと ～産める 産めない から その先へ	牧野あずみ(薬剤師・がんサバイバー)
			総合討論	
15:15	15:45	0:30	教育講演「新型コロナウイルス感染症の現状～新型コロナががん生殖医療に与える影響～」	田辺正樹(三重大学医学部附属病院 感染制御部 部長・教授)
15:55	16:55	1:00	薬剤師ワークショップ「なるほど実践!がん・生殖医療で薬剤師が活躍するために!」	
			がん・生殖医療における薬剤師の役割	日置三紀(滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部)
			AYA支援チームの中での薬剤師の活動について	小室雅人(国立国際医療研究センター 薬剤部)
			妊孕性温存療法における薬剤師の活動について	赤阪未来(三重大学医学部附属病院 薬剤部)
			まとめ	
16:55	17:25	0:30	学術奨励賞受賞講演	
			シスプラチンが及ぼす胎盤への影響: LA-ICP-MSを用いた重金属蓄積性の検証とトロホプラストの機能解析	吉原 雅人(名古屋大学大学院医学研究科 産婦人科学)
			卵巣局所環境における細胞老化を標的とした抗がん剤曝露に対する新規卵巣機能温存法の開発	國富 千智(東京大学医学部附属病院 産科・女性診療科)

**2月12日（土）【第2会場：会議室141+142】**

開始	終了	所要時間（分）	セッション・講演名	座長・演者
9:50	10:45	0:55	一般演題口演発表①「妊孕性温存手術」	6題
11:00	12:00	1:00	周産期部会ワークショップ「わが国発のがんサバイバーと妊娠に関する研究」	
			海外におけるがんサバイバー女性の周産期予後に関する知見	岩間憲之（東北大学病院 産婦人科 産科・周産母子センター 講師）
			わが国におけるがんサバイバー女性の周産期転帰に関する検討	安岡稔晃（愛媛大学医学部附属病院 産科婦人科学 助教）
			CAYA世代がん経験者のソーシャルキャピタルの実態調査から見てきた今後の支援体制を考える	太田邦明（東京労災病院 産婦人科 部長）
12:15	13:15	1:00	大塚製薬株共催ランチョンセミナー「婦人科がんサバイバーにおけるヘルスケア」	横山良仁（弘前大学産科婦人科学講座 教授）
14:00	14:45	0:45	一般演題口演発表②「妊孕性温存支援」	5題
15:00	16:05	1:05	一般演題口演発表③「妊孕性温存の現状」	7題

## 2月13日（日）【第1会場：レセプションホール】

開始	終了	所要時間（分）	セッション・講演名	演者
9:00	10:00	1:00	<b>卵巣凍結・移植セッション「卵巣凍結・移植～そのコツとピットフォール～」</b>	
			当院における卵巣凍結・移植の実際 ～卵巣摘出手術におけるコツとピットフォール～	砂田真澄（京都大学医学部研究科 婦人科学産科学教室 特定助教）
			卵巣凍結・移植～そのコツとピットフォール～	杉下陽堂（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 / 難病治療研究センター 准教授）
			卵巣凍結・移植における内視鏡手術のコツ	高江正道（聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 准教授）
10:10	11:50	1:40	<b>日本卵子学会共催セミナー「がん生殖における胚培養士の役割」</b>	
			がん生殖への日本卵子学会としての関わり方について	久慈直昭（東京医科大学 産科婦人科学講座 教授）
			本邦における胚培養士を対象とした妊孕性温存療法の実施状況調査報告	泊 博幸（アイブイエフ詠田クリニック培養部 培養部長）
			ヒト妊孕性温存のための配偶子の超低温保存と生殖補助技術の利活用	柏崎直巳（麻布大学 獣医学部 動物応用科学科 教授）
			低侵襲的遺伝子発現解析による卵質の評価	宮本 圭（近畿大学 生物理工学部 准教授）
12:00	13:00	1:00	<b>MSD(株)共催ランチョンセミナー「HPVワクチン最新の話」</b>	
			迫りくる健康被害：積極的勧奨差し控えの継続がもたらすHPVワクチン停止世代における子宮頸部細胞診異常率の上昇 Vaccine hesitancyを越える～HPVワクチン接種率向上への取り組み～	八木麻未（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学 特任助教） 種部恭子（女性クリニックWe！TOYAMA代表／富山県議会議員）
13:10	14:10	1:00	<b>看護師・心理士ワークショップ「若年がん患者の妊孕性支援について～症例から考える～」</b>	
			症例報告1 症例報告2	
14:10	15:20	1:10	<b>認定がん・生殖医療ナビゲーター制度教育講演「がん・生殖医療と遺伝について」</b>	
			本学会の認定制度について	小野政徳（東京医科大学 産科婦人科学分野 准教授）
			がん・生殖医療と遺伝	片桐由起子（東邦大学医学部 産科婦人科学講座 教授）
			がん・生殖医療と遺伝性腫瘍	平岡弓枝（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 遺伝子診療部門 遺伝カウンセラー）
15:20	17:25	2:05	<b>小児がんセッション「小児がん患者に対する妊孕性温存療法」</b>	
			小児がん拠点病院での妊孕性温存療法の実情～意識調査結果より～	前沢忠志（三重大学医学部 産科婦人科学教室 助教）
			わが国の小児がん医療提供体制と生殖医療	松本公一（国立成育医療研究センター 小児がんセンター センター長）
			小児がんの長期フォローアップからみた妊孕性温存	前田美穂（日本医科大学 名誉教授）
			子どもの妊孕性温存に関わるCLSの役割	山口伸実（三重大学 医事課医療福祉係 チャイルドライフスペシャリスト）
			小児がん患者の妊孕性温存 ～小児がん経験者と小児がん診療医の立場から～	松井基浩（東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科）
			小児がん患者における妊孕性温存の最新の医療 質疑・総合討論	堀江昭史（京都大学附属病院 産婦人科 講師）
17:30	17:45	0:15	<b>表彰式</b>	

2月13日（日）【第2会場：会議室141+142】

開始	終了	所要時間(分)	セッション・講演名	演者
8:45	9:30	0:45	一般演題口演発表④「男性妊孕性温存」 5題	
9:30	10:30	1:00	サイコソーシャルケア委員会企画「がんサバイバーの妊孕性懸念に寄り添う」	
			がん後の妊孕性に関する懸念尺度(RCAC): 日本語版の作成	小泉智恵 (日本がん・生殖医療学会サイコソーシャルケア委員会 / 獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター 研究員)
			乳がんサバイバーにおけるがん後の妊孕性に関する懸念と支援ニーズ: RCAC尺度女性版研究	本吉 愛 (日本がん・生殖医療学会サイコソーシャルケア委員会 / 聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科学 助教)
			男性がんサバイバーにおけるがん後の妊孕性に関する懸念と支援ニーズ: RCAC-M尺度研究	岩端威之 (日本がん・生殖医療学会サイコソーシャルケア委員会 / 獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター 助教)
10:40	11:40	1:00	乳がんガイドライン改訂にあたって	
			「乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン」改訂のポイント	田村宜子 (虎の門病院 プレストセンター 医長)
			「乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン」の活用方法	北野敦子 (聖路加国際病院 腫瘍内科 医幹)
13:15	14:10	0:55	一般演題口演発表⑤「妊孕性その他」 6題	